

ちょうしづか新聞 第3号

国指定史跡銚子塚古墳附丸山塚古墳整備事業に伴う試掘調査速報

発行日:2004年9月26日(日曜日) 発行:山梨県埋蔵文化財センター資料普及課資料第2担当

スクープ! 銚子塚古墳のプロフィール大公開!

銚子塚古墳が全長169メートルもある大きな前方後円墳であることはすでに創刊号でお伝えしました。しかし、我がちょうしづか新聞編集部では、それ以外の銚子塚古墳のプロフィール情報の入手に成功しました。ここでは特別にその情報を皆さんにお伝えしましょう!では、銚子くん、お願いします。



はいはい。どうもどうも。僕が「銚子くん」です。えー!なんだか恥ずかしいな。でも特別におしえちゃおっと。みんなには内緒だよ。でも、照れるな。



本籍:	東八代郡中道町下曾根 西暦350年~400年頃
生年月日:	今から大体1650年~1600年前 古墳時代前期生まれです (意外と年寄りなんでーす!)
スリーサイズ:	全長 169m(墳丘部のみ) 後円部直径 92m 後円部高さ 15m 前方部幅 68m 前方部高さ 8.5m
身体の特徴	前方後円形のキュートなスタイルです。 後円部の中央に竪穴式石室があります。 東山の山すそ斜面を掘削して作られました。 墳丘は盛り土をつき固めて作られました。
主な持ち物1 (副葬品)	青銅鏡5面(三角縁神獣鏡ほか) 車輪石、石釧、杵形石製品、貝釧 勾玉(碧玉製、水晶製など)、管玉150点 鉄剣3本、鉄刀4本、鉄鏃、鉄斧
主な持ち物2 (墳丘・周溝)	埴輪(円筒埴輪、壺形埴輪) 木製品(木製埴輪) 土器(S字状口縁台付甕など)
手術歴 (発掘調査歴)	昭和3年(1928年)石室内の調査 昭和41年(1966年)石室と墳丘の測量 昭和58年(1983年)整備の予備調査 昭和60年(1985年)整備のための試掘調査 平成13年(2001年)整備のための試掘調査 平成16年(2004年)整備のための試掘調査
その他ひみつ	・昭和5年(1930年)に国史跡になったよ。 ・墳丘は芝生貼りされているけど、本当は石が「葺石」として貼られていたんだよ。(墳丘全体かどうかはわからないけどね。) ・もうおわかりでしょうけど、僕は「お墓」なんだ。古墳時代前期に甲斐国を支配していた人物のために作られたんだ。



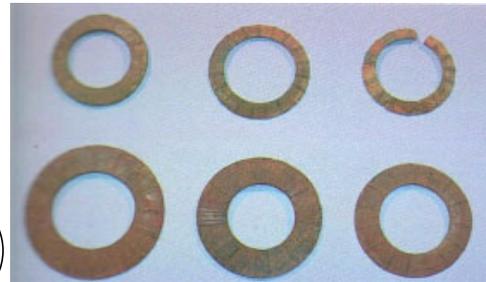
青銅製の鏡(石室から出土)



壺形の埴輪(墳丘)から出土)



これは僕のコレクションのご一部なのさ! 過去の発掘調査などで発見してもらったんだよ。でもねー、埴輪・木製品・土器以外はみんな東京の国立博物館に保管されているんだ。



石釧[石でできた腕輪](石室から出土)

【連絡先】山梨県埋蔵文化財センター 資料普及課資料第2担当(森原・森屋)
〒400-1508 山梨県東八代郡中道町下曾根923 電話055-266-3016 ファックス055-266-3882
e-mail morihara-thb@pref.yamanashi.lg.jp

||